

(総括評価表〔付表：戦略5〕)

取組みの方向性	アジアとつながる	戦略	【戦略5】アクション・アジア ～成長するアジアの市場に打って出ます～	施策数	取組数	H24事業数	H25事業数	H24決算	H25予算
				4	12	46事業	55事業	3,031,342千円	3,467,171千円

1 戦略の内容

(1)現状と課題

県内の多くの中小企業は、貿易等を進めるために必要な人材やノウハウ等が十分ではなく、また、国内とは違う様々なリスクがあるため、海外展開に踏み出せない状況にあります。また、本県の高品質で安全安心な農林水産物や加工品なども、海外市場における認知度が高いとはまだまだ言えません。このため、熊本上海事務所や、今後設立予定の広西(こうせい)事務所等を拠点として、アジアに向けた情報発信や県内中小企業の海外進出への積極的な支援が求められています。

人口減少と少子高齢化が進む本県においては、経済成長が続くアジアなど外国からの観光客の誘客促進は、地域経済の活性化を図るうえで不可欠となっています。外国人観光客の大幅な増加が期待される一方、地域間競争が激化しており、アジアなど世界から、観光客や留学生を呼び込むための積極的な情報発信や受入体制の充実が求められています。

(2)概要

これまで交流を重ねてきた中国・広西壮族自治区や韓国・忠清南道に加え、上海、香港、シンガポール、台湾などを拠点とし、東アジアのみならず、アセアン地域もターゲットにした海外戦略を積極的に展開し、躍動し成長を続けるアジアの活力を取り込みます。

(3)体系 (単位：千円)

打① つア 出ア るに	◆アジアの市場に打って出る〔施策27〕 ～新たなマーケットの開拓と交流促進～ 【担当部局：知事公室・企画振興部・健康福祉部 ・商工観光労働部・農林水産部】	(H24事業数・決算/H25事業数・予算)	28事業	311,899	34事業	576,953
	◆ポートセールスを新体制で展開する〔施策28〕 ～熊本港・八代港を活用したポートセールスの強化～ 【担当部局：商工観光労働部・農林水産部・土木部】	(H24事業数・決算/H25事業数・予算)	11事業	2,555,558	12事業	2,645,176
	◆観光客を増やす〔施策29〕 ～アジアをターゲットとした誘客戦略の強化～ 【担当部局：企画振興部・商工観光労働部】	(H24事業数・決算/H25事業数・予算)	6事業	162,971	6事業	237,796
呼② ア び 込 む か ら	◆留学生から「選ばれる」まちを創る〔施策30〕 ～留学生とつながる仕組みづくり～ 【担当部局：企画振興部・商工観光労働部】	(H24事業数・決算/H25事業数・予算)	1事業	914	3事業	7,246

2 戦略の評価

(1)指標の推移・分析

指標〔単位〕	策定時	H24 〔達成度・増減〕	H25 〔達成度・増減〕	H26 〔達成度・増減〕	目標値(H27) 〔単位〕	前年度からの推移の分析
① アジア地域への輸出及び進出を行っている県内企業・農業団体等の数(中国)〔延べ数〕	57 (H23)	66 <76.7%>			86 [延べ数(累計)]	【H24年度末現在】海外ビジネスアドバイザーの支援や海外展示会への出展などにより、順調に成果が上がっている。
アジア地域への輸出及び進出を行っている県内企業・農業団体等の数(アセアン)〔延べ数〕	27 (H23)	33 <82.5%>			40 [延べ数(累計)]	
アジア地域への輸出及び進出を行っている県内企業・農業団体等の数(台湾)〔延べ数〕	16 (H23)	21 <91.3%>			23 [延べ数(累計)]	
② 延べ外国人宿泊者数〔万人〕	33 (H22)	30 <50.0%>			60 [万人/年(単年)]	東日本大震災に伴う原発事故の影響によりH23年に大きく減少していた外国人宿泊者数は、H24年は韓国、台湾を中心として順調に回復した。
うちアジアからの延べ外国人宿泊者数〔万人〕	30 (H22)	28 <50.9%>			55 [万人/年(単年)]	
③ 留学生の数〔人〕	575 (H23)	655 <65.5%>			1,000人以上 [人/年(単年)]	【H25.5.1現在の数値】各大学が留学生増加に向けた取組みを積極的に進めているためと推察される。

(2)平成24年度の主な成果 **(3)平成25年度の推進方針・推進状況** **(4)戦略を推進する上での課題** **(5)今後の方向性**

<ul style="list-style-type: none"> ●新たに台湾にビジネスアドバイザーを配置し、県内企業を支援(相談件数：アセアン74件、香港45件、台湾25件)。 ●輸出促進アドバイザーを配置し、新規輸出事業者の掘り起こしを実施。海外バイヤー招へい等による商談機会を創出(H24年度新規取引：13件)。 ●H24年7月、熊本～南寧のチャーター便造成(参加者約150名)。定期便の整備などを含めた広西壮族自治区との覚書を締結。 ●熊本上海事務所や南寧市の熊本広西館(H24年設置)を拠点として、県内企業の中国展開を支援。 	<ul style="list-style-type: none"> ●関係部局による海外展開推進本部を設置。 ●「くまもと農林水産物・物産支援協議会(仮)」を中核に、新たな国への販路拡大やG-GAP、ハラル等テーマ毎の事業者のスキルアップを促進。 ●新設した熊本県アジア事務所(シンガポール)を中核として、アジア・アセアン地域への農林水産物の輸出促進及び県内企業の進出支援等を展開。 ●日中関係の行方を見据え、熊本～中国の定期便の実現に向けた協議を重ねつつ、南寧線等(経由便を含む)の可能性を検討。 ●認知症対策の“熊本モデル”に関する海外との交流プログラムを開発。 	<ul style="list-style-type: none"> ●相手国の情報(商習慣や検疫条件など)収集や流通ルートの開拓など、生産者等が個々で輸出に取り組む際の高いハードルの克服。 ●熊本～南寧間の定期チャーター便を実施する場合の安定した需要の確保。 	<ul style="list-style-type: none"> ●アジア地域への輸出及び進出を行っている県内企業・農業団体数の目標(※)達成に向けて取組推進。(※中国：延べ86、アセアン：延べ40、台湾：延べ23) ●県産農林水産物の輸出拡大のための、生産者向け専門的相談・助言体制づくり及び販路拡大のための商談機会の創出。 ●日中関係の行方を見据え、熊本～中国の定期便の開設に向けた誘致活動を実施するとともに、南寧線等(経由便を含む)の誘致活動を実施。
<ul style="list-style-type: none"> ●熊本港、八代港のコンテナ取扱数量が前年比16%増加し(H24:両港計16,400TEU、空コンテナを含む)、物流が促進。 ●熊本港のガントリークレーンがH24年10月に供用開始し、コンテナ荷役の安定性が向上。 ●H24年12月から熊本港の週2便体制が実現し、推進体制の整備が進展。 	<ul style="list-style-type: none"> ●コンテナ助成金等をインセンティブにより多くの荷主企業への働きかけ等を実施。 ●物流・倉庫企業の誘致等を推進。 ●「くまもと県産木材輸出促進協議会」での課題検討により、県産木材の東アジアへの販路拡大を促進。 ●航路や防波堤等必要な整備による熊本港の物流機能の強化。 ●八代港の韓国及び中国航路を加えた週5便化。 	<ul style="list-style-type: none"> ●航路の維持・拡充に向けた戦略的ポートセールス効果の早期発現。 ●県産木材のポートセールス強化のための海外需要や輸出関連情報の収集等の戦略的推進。 	<ul style="list-style-type: none"> ●両港計で30,000TEUをめざし、地元市や港湾関係企業等との積極的な協働体制を構築。 ●八代港の水深14m岸壁及び関連施設を整備促進し、物流機能を強化。 ●熊本港施設の整備や適切な維持・管理で熊本都市圏の物流機能を強化。
<ul style="list-style-type: none"> ●延べ外国人宿泊者数は302,505人(対前年比+31.9%)と回復。特に東アジアは、韓国：172,313人(全国第5位、対前年比+15.5%)、台湾：66,184人(対前年比+279.5%)、香港：13,215人(対前年比+83.0%)、中国：16,429人(対前年比+30.5%)と大幅に増加。 ●熊本～ソウル線週5便化に取り組みとともに、台湾とのチャーター38便を実現。 ●天草エアラインの外国人の利用実績が178名となり、海外観光客の誘致に寄与。 ●中国、韓国のツアー2件の観光クルーズ船が八代港に寄港し、1,680人の観光客の受け入れを実現。 ●熊本港の観光案内板や案内標識を多言語化。 	<ul style="list-style-type: none"> ●韓国からの高速鉄道～九州新幹線ツアーや「九州オルレ」の推進、中国の富裕層や台湾・香港からの誘客強化に加え、東南アジアからの誘客を強化。 ●八代港寄航ツアー及び博多港など他県の港に入港したクルーズ船のオフショールツアーの誘致に向け、クルーズ会社や日本側手配会社へのセールスを促進。 ●外国人観光客のニーズに合った多言語環境整備のあり方の検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ●九州運輸局、九州観光推進機構、九州各県と連携し、海外プロモーション、旅行会社やマスコミ関係者の招聘事業の実施などにより、「オール九州」の視点に立った情報発信。 ●熊本～ソウル線週5便化や新規直行便就航に向けた安定した需要確保。 	<ul style="list-style-type: none"> ●延べ外国人宿泊者数が、H22年の33万人からH27年までに60万人となるよう取組みを推進。 ●熊本～ソウル線の週5便化実現、台湾・中国との定期線の就航、天草エアラインを活用した海外観光客誘致実現に向け、継続して取組みを推進。
<ul style="list-style-type: none"> ●「くまもと都市戦略会議」で「留学生支援のためのワンストップ窓口の設置」等を検討し、H25年度から事業実施が決定。 ●大学コンソーシアム熊本や九州グローバル産業人材協議会等との共催による留学生向け就職合同説明会に、県内企業等19社と留学生132人が参加。 	<ul style="list-style-type: none"> ●大学コンソーシアム熊本が実施する「留学生支援のためのワンストップ窓口設置」等の取組みが円滑に運営できるよう支援。 ●県内の大学で学ぶ留学生を対象とした海外に進出する中小企業の就職合同説明会の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ●大学コンソーシアム熊本が実施する留学生支援の進捗状況の適宜把握。 ●就職合同説明会における、より多くの企業及び留学生の参集と、企業側と留学生側双方のニーズの的確な把握。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「留学生が1,000人」の達成に向け、留学生支援ワンストップ窓口の設置、留学生ネットワークの構築等を支援。 ●留学生が住みやすく、学びやすい環境を実現し、満足度向上、留学生数の増加を推進。